

館長	小松 かつ子	Professor	Katsuko Komatsu (Ph.D.)
特命准教授	毛利 千香	Specially Appointed Associate Professor	Chika Mori (Ph.D.)
技能補佐員	出口 鳴美	Research Assistant	Narumi Deguchi

◇目的

世界の諸民族の伝統薬物を蒐集、保存、展示するとともに、それらの学術情報を収載したデータベースを構築し、伝統薬物に関する共同研究を推進する。

◇活動概要

I) 民族薬物データベース (ETHMEDmmm) の構築

当資料館には、和漢薬、アーユルヴェーダ生薬、ユナニー生薬、タイ生薬、インドネシア生薬、チベット生薬など約 29,500 点の生薬標本が保存されている。これらに関するデータベース (以下、DB) について順次、生薬標本情報並びに学術情報を更新、整理している。

II) データベース間の生薬学術情報相互更新

I の民族薬物 DB と、研究所管理の伝統医薬 DB の生薬学術情報を相互に更新できるようにシステムを改善した。

III) ネパール本草ビル・ニガントウ データベースの構築

ネパール本草ビル・ニガントウ DB システムを Linux サーバで再構築し、オンプレミスからクラウドに移行した。

IV) 「民族薬物資料館」ニュースレターの刊行

当館の活動や館内の展示物などを紹介したニュースレター (第 20, 21 号) を刊行した。

V) 「ひらめき☆ときめきサイエンス事業」の実施

日本学術振興会助成事業による「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI～」として、平成 30 年 8 月 4 日 (土) に民族薬物資料館で中学生・高校生を対象とした和漢薬体験プログラム「和漢薬ってこんなに身近にあったんだ!～生活に溶け込んでいる薬用植物～」を実施した。参加者は 21 名 (高校生 10 名, 中学生 11 名)。

VI) 一般公開

第 32 回民族薬物資料館一般公開: 平成 30 年 10 月 21 日 (午前 9 時 30 分～午後 4 時)

「生薬とその環境—近年 50 年の変遷—」と題し、甘草と人参に関する特別展示を行うと共に、(株) 榎本天海堂の山本豊氏を講師として招き、『生薬の流通の現状と変遷について』という演題で特別講演を開催した。来館者は 110 名。

◇学会報告 (*: 特別講演, シンポジウム, ワークショップ等)

- 1) 毛利千香. 色材藤黄の研究—収穫方法と植物種について—. 文化財保存修復学会第40回大会; 2018 Jun17; 高知.
- 2) 毛利千香. 色材「ズミ」評価のための日本産リノゴ属植物樹皮中フラボノイドの分析. 文化財保存修復学会第40回大会; 2018 Jun17; 高知.
- 3) 小松かつ子, 出口鳴美, 伏見裕利, 入口敦志, 相田満, 岩橋清美. 民族薬物データベースから江戸時代の古典籍『広恵濟急方』情報を発信. 大学博物館協議会; 2018 Jun 21; 香川.

◇原著論文

- 1) Douglas J.G., Kavich G., Mori C., Wallace D., Barden R.: Materials Characterization of the Ruby Slippers from the 1939 Classic Film, The Wizard of Oz. Heritage Science, 6: 49, 2018. DOI: 10.1186/s40494-018-0214-1.

◇その他

- 1) 小松かつ子. 研究活動報告「古典籍を活用した和漢薬に関する総合研究—民族薬物データベースから『広恵濟急方』情報を発信—」. 国文学研究資料館 ふみ 第10号 p. 10; 2018 Jun; 富山.
- 2) 毛利千香. 加賀能登薬草シンポジウム植物観察会, 観察会講師; 2018 Jun 24.; 金沢大学.
- 3) 毛利千香. 蓋草一本蔵書の記載を元に、その利用と歴史を探る—. 日本漢方生薬ソムリエ協会講習会; 2018 Jul 29; 富山大学.
- 4) 小松かつ子. 平成30年度ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI「和漢薬ってこんなに身近にあったんだ!—生活に溶け込んでいる薬用植物—」. 日本学術振興会; 2018 Aug 4; 富山大学.
- 5) 小松かつ子. 体験実習「和漢薬鑑定に挑戦」. 第23回和漢医薬学総合研究所夏期セミナー; 2018 Aug 7-8; 富山大学.
- 6) 久保山友晴, 毛利千香. 体験実習「丸薬作りと資料館見学」第23回和漢医薬学総合研究所夏期セミナー; 2018 Aug 7; 富山大学.
- 7) Mori C. The Studies of the Yellow Pigment Gamboge: Southeast and South Asian Variations. Research Talk; 2018 Aug 16; Freer Gallery of Art and Arthur M. Sackler Gallery, Smithsonian Institution.
- 8) 小松かつ子, 毛利千香. 現地学習(民族薬物資料館). 平成30年度富山市民大学講座「生活医学薬学を学ぶ」; 2018 Oct 5; 富山大学.

◇研究費取得状況

- 1) 日本学術振興会主催, ひらめき☆ときめきサイエンス, 和漢薬体験プログラム「和漢薬ってこんなに身近にあったんだ!～生活に溶け込んでいる薬用植物～」, 28.5万.

◇記録

I) 見学者 (2018年4月1日～2019年3月31日)

来館者総数: 1,222名 (日本人 1,036名, 外国人 186名)

案内総回数: 95回 (日本人 75回, 外国人 20回)

外国人の国名(人数) 中国(88), アメリカ(22), ミャンマー(22), ベトナム(17), タイ(11), 韓国(7), ドイツ(3), アゼルバイジャン, イラク, イラン, インド, インドネシア, ウガンダ, サモア, ザンビア, フィジー, ブラジル, ラオス, リベリア, ノルウェー, スウェーデン, タンザニア, エジプト(各1)

主な来館者の所属先 【海外】中国(中国大使館, 行政官, 優品国草連盟, 中国科学院, 北京大学, 河南中医薬大学, 瀋陽薬科大学大学他), アメリカ(南カリフォルニア大学, グリネル大学他), ミャンマー(保健・スポーツ省, 製薬企業他), ベトナム(ホーチミン医科薬科大学他), タイ(マヒドン大学, チェンマイ大学他), 韓国(世明大学), ドイツ(エバーハルト・カール

大学), 国際厚生事業団他

【国内】文部科学省, 日本学術振興会, 衆議院議員, 県議会議員, 国公立大学 12 校, 国内公立高校 9 校, 富山市民大学講座, 富山市, 製薬関連企業他

II) 民族薬物データベース (2018 年 4 月 1 日 ~2019 年 3 月 31 日)

アクセス数 : 25,283 件

III) 証類本草データベース (2018 年 4 月 1 日 ~2019 年 3 月 31 日)

アクセス数 : 6,111 件

専門検索登録者数 : 77 名